

小学校国語

A問題 平均正答率：65.7%（全国：70.0%） 平均無解答率：4.5%（全国：3.6%）
 B問題 平均正答率：62.5%（全国：65.4%） 平均無解答率：6.2%（全国：6.1%）

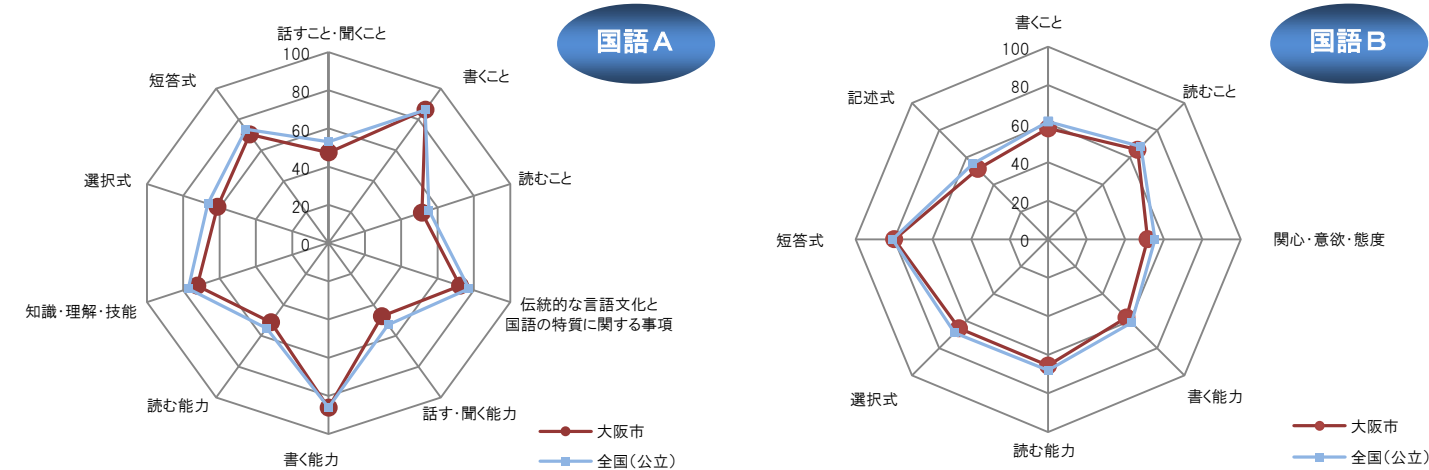
分類・区分集計結果

分類	区分	A問題（全14問）			B問題（全9問）		
		H27 対象 設問数	平均正答率(%)		H27 対象 設問数	平均正答率(%)	
			H27 大阪市	H27 全国		H27 大阪市	H27 全国
学習指導要領の 領域	話すこと・聞くこと	1	47.4	53.0	0	—	—
	書くこと	1	86.2	86.0	6	57.5	61.1
	読むこと	4	51.3	55.2	6	65.6	68.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	9	72.3	77.2	0	—	—
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0	—	—	4	51.6	55.4
	話す・聞く能力	1	47.4	53.0	0	—	—
	書く能力	1	86.2	86.0	6	57.5	61.1
	読む能力	4	51.3	55.2	6	65.6	68.1
	言語についての知識・理解・技能	9	72.3	77.2	0	—	—
問題形式	選択式	7	61.2	66.4	3	65.4	68.6
	短答式	7	70.2	73.7	2	79.9	80.8
	記述式	0	—	—	4	51.6	55.4

領域・観点・問題形式別の状況は概ね全国と同傾向

■ A問題では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」等の項目で低い値を示しています。

■ B問題では、「書くこと」「記述式」等の項目で低い値を示しています。



※一つの設問が複数の区分に該当する場合がありますため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合があります。

設問から見られる具体的な成果と課題

- 【国語A】◇「漢字の読み」「具体的な事例を挙げて説明する文章を書くこと」にがんばりが見られます。
 ◆「文の中における主語を捉えること」「話の内容に対する聞き方を工夫すること」「新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉えること」に努力が必要です。
- 【国語B】◇「目的に応じ、中心となる語や文を捉えること」にがんばりが見られます。
 ◆「目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くこと」「文章と図とを関係付けて、自分の考えを書くこと」に努力が必要です。

小学校算数

A問題 平均正答率：72.8%（全国：75.2%） 平均無解答率：2.0%（全国：1.8%）
 B問題 平均正答率：42.8%（全国：45.0%） 平均無解答率：8.5%（全国：9.1%）

分類・区分集計結果

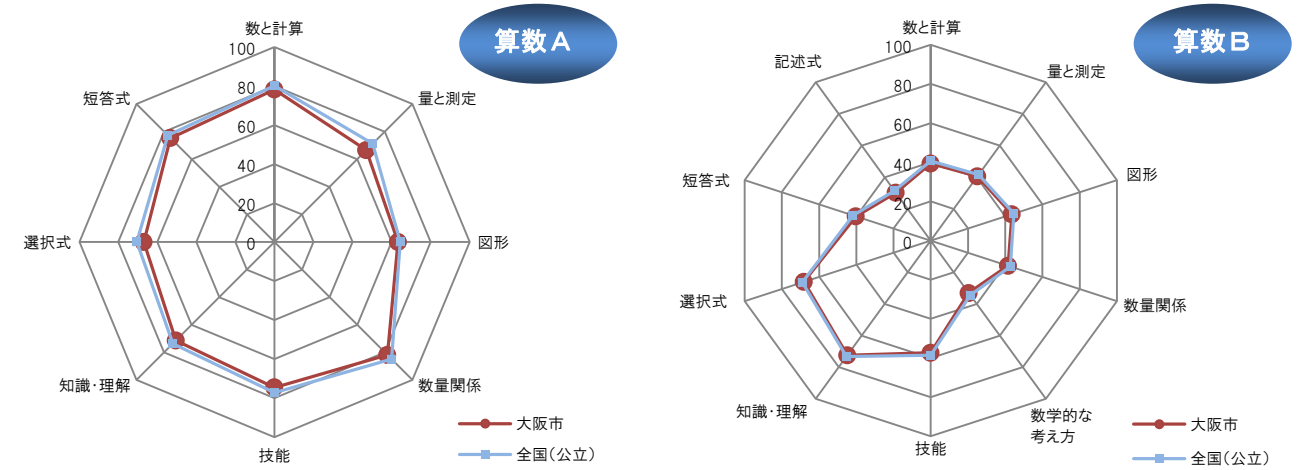
分類	区分	A問題（全16問）			B問題（全13問）		
		H27 対象 設問数	平均正答率(%)		H27 対象 設問数	平均正答率(%)	
			H27 大阪市	H27 全国		H27 大阪市	H27 全国
学習指導要領の 領域	数と計算	7	78.2	80.1	4	39.4	42.4
	量と測定	3	66.6	71.3	3	40.6	41.7
	図形	4	63.4	64.5	7	43.6	45.6
	数量関係	2	81.9	84.9	3	41.6	43.0
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0	—	—	0	—	—
	数学的な考え方	0	—	—	9	33.1	35.3
	数量や図形についての技能	7	74.5	77.2	2	57.3	58.7
	数量や図形についての知識・理解	9	71.4	73.6	2	72.4	74.9
問題形式	選択式	5	67.0	70.5	3	68.1	70.6
	短答式	11	75.4	77.3	5	40.2	42.2
	記述式	0	—	—	5	30.3	32.5

※一つの設問が複数の区分に該当する場合がありますため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合があります。

領域・観点・問題形式別の状況は概ね全国と同傾向

■ A問題では、「量と測定」「図形」等の項目で低い値を示しています。

■ B問題では、「数学的な考え方」「記述式」等の項目で低い値を示しています。



設問から見られる具体的な成果と課題

- 【算数A】◇「繰り上がりのある加法の計算」「式と図を関連付けて理解すること」にがんばりが見られます。
 ◆「示された三角形が二等辺三角形になる根拠を円の性質と関連付けて判断すること」「分度器を用いて、180°よりも大きい角の大きさを求めること」に努力が必要です。
- 【算数B】◇「平行四辺形を構成することができる辺の組み合わせの理解」にがんばりが見られます。
 ◆「示された情報から基準量を求める場面と捉え、比較量と割合から基準量を求めること」「分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を記述すること」に努力が必要です。